

寺報

No.663

令和4年11月

蓮華寺
發行

御聖訓

人の寿命は無常也。(略)かし

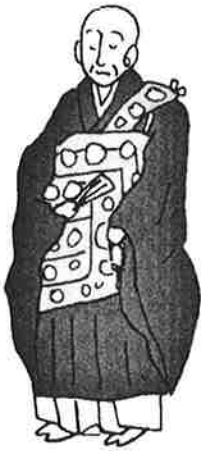
こきも、はかなきも、老ひたるも

若きも定めなき習ひなり。

されば先、臨終の事を習うて後に

他事を習うべし。

『妙法尼御前御返事』



(解説)

「人の寿命とは、常に一定してゐるものではなくいつも変化し生滅してゐるものであります。

それは、老若男女、貧富、貴賤、賢愚の区別なく、誰でもいづれは死を向かえるものなのです。

そうであるならば、世間一般の事よりも、まず自分の死について学びなさい。」

と、日蓮大聖人は力説します。

つまり、我々は決して【死】というものから逃れる事が出来ないのであれば、逆にどう生きていけばいいのか、おのずから分かつてくるという意味なのです。

我々、一生に一度の人生ならば、一日一日をいかに大切にかつ真剣に生き抜いていかなければならないのです。

皆様も、ただ仕事やお金に振り回されて一生を終えるのであれば、それはむなしいだけでしょう。

どうか神仏に日々の感謝を捧げ、自分の心の支えとして人生を送るのであれば、それは悔いのない生き方が出来たといえるのではないのでしょうか。

檀信徒研修会のお知らせ

十一月二十六日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂(お通夜の場合変更)

持参品：聖典(お経本・事務所にて)、数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さずお経とお題目唱え、頑張つて参加して下さい。お寺で、気持ちを込め、大きな声でお勤めをしましょう。

また、太鼓をたたいて、精神を統一してお題目を唱えてみて下さい。

*自分の懺悔(反省)・罪障消滅・または家内安全・当病平癒などの祈り、先祖や仏様の供養の為に拝みましょう。

②イス席です。

今年度最後の研修会です

◎日蓮大聖人

聖語カレンダー《限定販売》

日蓮宗新聞社発行で、縦58横38センチです。

一ヶ月で一枚、上半分に大聖人のお言葉とその解説、下半分がカレンダーで、干支・二十八宿・旧暦が書かれ、更に宗門聖日(日蓮宗で重要な日)も出ております。

一部・・・五〇〇円
◎令和五年度「暦」
一部・・・一五〇円

☆靈断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

靈断と『靈』の字がありますが、霊を呼び出してなどという事は決してありませんのでご安心下さい。なお、宗旨宗派は問いませんし、秘密厳守です。

【ご相談料は一件につき三千元です】
必ずご予約をお願い致します。 ☎776-5840

『七五三』のお知らせ

当山では毎年『七五三』の祈禱を行っています。

『七五三』は本来「数え年」で行うものですから、

◎七歳・平成二十八年生れの女兒

◎五歳・平成三十年生れの男児

◎三歳・令和二年生れの女兒

となりますが、ご家庭の事情により「満年齢」でも構いませんので、子供さんの幸せと発育を願ひまして、日蓮宗のご祈禱をお受け下さい。

なお、子供さんには「鬼子母神木札」「千歳飴」「干支のキーホルダー」「記念写真」を差し上げますのでどうかお早めに、ご予約を戴きますようお願い致します。

※用意する物：御神酒一升(ご本人の名前を書く)



盛運祈願会へお参りしましょう

毎月ついたち午後一時からの、お守り(俱生靈神符)を戴く行事を「盛運祈願会」といいます。

ついたちの日が仕事や諸用で忙しいとか、またご遠方の方は仕方ありませんが、是非とも盛運祈願会に参拝してお守りを戴いて下さい。

そして、我々はお守りを戴くだけではなく、御寶前に於きまして御本尊様・日蓮大聖人様・諸天善神・俱生靈神様に

『一ヶ月間どうも有り難うございました。また、今月もよろしくお願い致します。』と、御礼する事が大切なのです。

更に、我々が知らず知らずの間に作つて来た罪を、自らが懺悔滅罪し、一心に盛運を祈願して、俱生靈神のご守護をより強くする事も忘れてはいけません。

また、我々の身体はご先祖様より受け継がれたものです。

ですから、皆様ご自身の懺悔滅罪だけではなく、先祖の懺悔滅罪そして成仏を願う事も大事な事です。

日蓮大聖人と大黒様

日蓮大聖人は、大黒様の信仰の大切さをお弟子に勧めております。

「あなたがもし家に大黒様をお祀りし、一生懸命法華経・お題目を以て供養し信仰したならば、日々安楽にすごされるし、また諸願が成就し、更に現世安穩・後生善処の樂を得る事が出来る」と教えられました。以来、大黒様は日蓮宗の守護神として各寺院や檀信徒の家にお祀りされるようになりました。

特に（日蓮宗大荒行堂）の第参行（三百日目の修行）では、『大黒相承』という秘伝の奥義が相伝されるなど、大黒天信仰の大切さが今も受け継がれてきています。

どうか檀信徒の皆様も、大聖人が勧められます大黒様を家にお祀りし、守護神として法華経・お題目をもって祈念し、家内の安全を守ってもらえるようにしましょう。

また、家に祀られていても、ホコリをかぶったままで忘れられている大黒様は、必ずお寺に持参して『ご法水』で一年の垢を落として清めてもらうようにしましょう。

当日参拝出来ない方は、大黒様をお寺にお早めにお預り下さい。

大黒様は大切に！

新規大黒様のお申込み

新たに柅入りの大黒天をご希望の方は、事務所前に飾っています見本をご覧になり、お早めにお申込み下さい。

- 一升柅（手彫り）・・・五万円
- 五合柅（手彫り）・・・四万円
- 一升柅（機械彫り）・・・三万円

《いづれも分割可能》

【開眼・ご幣代が含まれます】

教宣部員の募集！

檀信徒の皆様の中で、蓮華寺、ご先祖・自分のご信仰の為に活動をご希望の方は『教宣部』に入部して下さい。

年間行事の奉仕を中心に活動して戴いております。老若男女を問いませんので、どんどんご入部下さい。

『魂入れ』『魂抜き』

【入魂・抜魂】【開眼・閉眼】ともいいます。

日蓮大聖人は「されば画像、木像の仏の開眼供養は法華経に限るべし、この画木の魂魄と申す神（たましい）を入れるは法華経の力なり」と説いています。

日蓮宗では、仏像や神仏の掛け軸などの新調・修復のみならず、仏壇・仏具・墓石などの【魂入れ】は、法華経・お題目のお力によって、善神を呼び寄せ悪神を退散させてから行ってきました。

【魂入れ】とは、新しく出来上がった『神仏』の使命を最高に發揮して戴くようにとお願いし、またそれを大切にしていく事で、信心堅固・除災得幸になる事を祈る儀式をいいます。

ですから「仏作って魂入れず」では駄目なのです。また【魂抜き】とは、その役目を終えた『神仏』の魂を永遠に抜き、今までお世話になりましたという感謝の気持ちを現わす儀式をいいます。

ですから「この神様、もういらなくなったから納めます」という人は、神様よりお叱りを受けるのです。

【魂抜き】には仏像・掛け軸・お経本、更に大事にしてきた人形なども含まれます。

また仏像や掛け軸を新たに修復する時も、一時的に魂を抜き、その後完成した際に、もう一度魂入れを入れ直す儀式をします。

当山では、皆様からお預かりした『神仏』を、朝のお勤めの中で【入魂・抜魂】しますが、特別に僧侶と共に法華経・お題目を唱える、感謝のご祈祷をお願いしたい方は、どうかお寺にご依頼下さい。

どれも、皆様の生命と生活を安全に護る為に行うものですので、必ずお願いいたします。

『提灯』の募集！

「御会式」「お正月」「鬼子母神大祭」の時に境内に下げます【提灯】（ちょうちん）の募集をしています。作成価格は八千円で、年間の維持費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。お申込み下さい。

『位牌壇』の募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様のご命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』があると、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも大丈夫です。

◎現在空いています上位の位牌壇に上がりたい方には数がある限り無料でお譲り致します。ですから、三席から特席にも上がる事も可能です。詳細は事務所まで!

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに有効に活用させて頂いております。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)事務所までお申込み下さい。

『靈神符』を持ちましょう!

最近は何いもよらない事故が多発したり、特に子供さん達が悲惨な事件に巻き込まれています。

檀信徒の皆様も「私だけは大丈夫」などという考えはお止めになりまして、どうか素直に毎月の靈神符(お守り)を肌身離さずお持ちになり、ご自分自身を心身共に守ってもらうように致しましょう。



十一月の行事

一 日(火)『盛運祈願会』 午後一時より

- ・お守り【靈神符】の交換の日です。
- ・お勤めに参拝してお経・お題目を唱えましょう。
- ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・檀信徒の皆様は必ずお守りを持ちましょう。



七 日(月)甲子『大黒様の日』 朝のお勤め中

十三日(日)『日蓮大聖人のご命日』 午後一時より

- ・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
- ・日蓮大聖人の御報恩を忘れずに参拝しましょう。
- ・十一月十三日は、当山の自家の京大本山「妙顕寺」の開基『日像上人』の祥月命日に当りますので、共にご回向申し上げます。

二十六日(土)檀信徒研修会(唱題行) 午後七時より

☆奉仕のお知らせ

◎今月は奉仕活動を行います行事はありません。どうか毎月の『盛運祈願会』『十三日のお勤め』『檀信徒研修会』に積極的に参加して下さい。

◎教宣部長・杉淵昌三

☆『十三日のお勤め』

に参拝しましょう

毎月十三日午後一時より

◎『十三日のお勤め』は、日蓮大聖人の大事な月ご命日の日です。

皆様も、日蓮大聖人への御報恩を忘れずに参拝し、お経とお題目を唱えるようお願い致します。◎『十三日のお勤め』のお経練習用に(CD・お経本)を販売しています。

最高の教え法華経

大黒祭

十二月四日（日）

昼十二時半より



（大黒様の行水・祈願・福引あり）

- ※行水と祈願の申込みは十一月十三日から受付ます。
- ※法要終了後、空くじなしの福引がありますので、ご家族ご友人をお誘いの上、奮ってご参拝下さい。
- ※大黒様をお持ちでない方もご自由にお参り下さい。
- ※新たに柵入りの大黒様をお求めになりたい方は、お早目に事務所までお申込み下さい。